

令和4年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業 報告

クラフトマーケット ～X' mas ファミリー day～

主催：国立中央青少年交流の家
(企画・運営 静岡県「体験の風をおこそう」推進事業実行委員会)



○趣旨

県内青少年教育施設が各施設の特色を活かしたブース出展を行い、来場される家族に様々な体験活動を楽しむ場を提供するとともに、施設の広報活動や事業紹介等を行う機会を設け、利用促進を図る契機とする。

○実施日 令和4年12月4日(日) 10:00～15:00

○来場者数

124 家族 455 名

(内事前予約：94 家族 324 名)



○出展団体及び内容 (クリスマスの時期に合わせた活動を提供)

- ・静岡県立朝霧野外活動センター・・・松ぼっくりのクリスマスツリー
- ・桃沢野外活動センター・・・火付け体験&焼きマシュマロ (クリスマスバージョン)
- ・国立能登青少年交流の家・・・海ゴミを利用したリース
- ・国立信州高遠青少年自然の家・・・松ぼっくりを用いたクリオーナメント
段ボールや等を用いたクリスマスツリー
- ・国立中央青少年交流の家・・・スノードーム、アロマキャンドル、オリジナル缶バッジ

※教育事業「中学会議所」の参加者による「SDGs ミッションウォークラリー」も実施

○広報活動

- ・施設ホームページ・SNSに掲載
- ・御殿場市内小学校(1～3年生)・幼稚園・こども園・保育園(所)にイベントチラシの配布
- ・エフエム御殿場に出演しPR活動
- ・近隣地区のイベントにブース出展をした際、イベントチラシの案内・配布
- ・御殿場市観光協会ホームページにてイベント内容の掲載
- ・しずおか農山村サポート「むらサポ」ホームページにイベントの掲載



○来場者アンケートより

- 子供と親、両方が楽しむことができたイベントでした。
- 家ではできない体験ができました。
- 働いている人の対応がとても優しく嬉しかったです。
- 難しい制作もありましたが、最後までやりきる子どもの姿が見られました。
- クリスマスbuffeも美味しくいただきました。
- また、このようなクラフト制作イベントがあれば参加したいです。
- 在庫がなくなったブースもあり、制作ができなくて残念でした。
- レストランが混み合っている時間があって大変でした。



○会場・各ブースの状況、取組事項

イベント開催日がクリスマスに近いため、各ブースではクリスマスにちなんだ制作活動を行った。また、会場内もクリスマス装飾を施し、クリスマスソングも流して楽しい雰囲気作りを演出した。受付横に設置したフォトスポットでは、子供たちの写真を撮る保護者の姿が多く見られた。受付時には検温を行い、制作前には手指の消毒を徹底して感染症対策を講じて実施した。午前、午後と混み合うブースもあったが、その際はアナウンスをする等をしてなるべく分散するように努めた。来場者には、「体験の風をおこそう運動」に関連したチラシや普及啓発グッズ、施設パンフレットを配布し、施設の広報活動に繋がった。



○成果・課題

○初めて実施する事業であり、来場者数を把握するために事前予約を受け付けた。その結果、約 300 名の事前予約があり、ブースで提供するための制作数を想定して事前に準備することができた。また、受付でも昼食券等をスムーズに配布することができ、円滑な運営に繋がられた。

○来場者の中には、初めて施設に来所される方が約 25%おられた（事後アンケートより）。家族・親子を対象とするイベントは、施設の認知度を広めるよい機会となっていると感じる。また、イベント時に 12 月、1 月の教育事業の広報も併せて行うことができた。事業の説明等を直接伝えることで、イメージができ、興味をもってくれる方が多くおり、12 月事業で 7 件、1 月事業で 5 件の参加申込に繋がった。

●静岡県内の教育施設（11 施設）に早期よりイベントの開催を案内していたが、各施設の様々な状況により出展する団体が少なかった。次年度以降、各施設の開放事業等に近隣施設が参加協力をする等、より多くの施設が参画できるような形で「体験の風をおこそう」運動推進イベントを開催することを視野に入れていく必要がある。